
【詩集】恋に恋して

月藤 琳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【詩集】恋に恋して

【Nコード】

N0398W

【作者名】

月藤 琳

【あらすじ】

前にやっていた詩のサイトに掲載していたものをこちらに置かせていただくことにしました。更新はほとんどないかと。初回は「はじめに。」に目を通していただけると嬉しいです。 いったん完結にします。

はじめる。

この詩の数々は、私が以前運営していた詩のサイトに掲載していたものです。

こんな拙い上に支離滅裂だったり文法が間違っていたりするものでも、眠らせておくには心許ない？という思いがありましてこちらに置かせていただくことにしました。

書いていたのはまだまだ青春真っ盛りな頃、恋をしていたときでした。

恋をしていたから詩を書けたと言っても過言ではないくらいです。その日、自分がなにを思っていたのか、その人を考えるとこんな思いになる。などをつらつらと書き溜めたものです。

なのでここ数年詩が書けていません（＾o＾）／ なんていう暴露・・・orz

いや、うん、たぶんその当時を思い出しながらでは書けると思うんですけど、今と前じゃぜんぜんここにある想いが違うので無理かなと。

読まれてからの苦情などはお受けできません。自己責任でお願いします。

零れ落ちるかすかな灯り 今もお 遠き想い人（前書き）

字数が足りなくて個別に投稿できなかったものをまとめました。

零れ落ちるかすかな灯り　今もなお　遠き想い人

あの日別れを告げた僕に泣くのを堪えて笑ったキミ

弱い僕でごめん

でも、キミを嫌いになつたわけじゃないんだ

+ さよならと　+

- - - - -
- - - - -
- - - - -

会いたい　声が聞きたい　なんてさ

そんなこと言ってもいい関係じゃなかったもんね

あたしたち。。。。

+ ささいな願い　+

- - - - -
- - - - -
- - - - -

愛される方が幸せになれるって分かってたけど

貴方を好きでいたかった

望んだ答えを返すことが出来なければ傷つけるだけ

その手を取ることなんて出来ないよ

+ NO TITLE +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

君と見た空を忘れない

どんなに時が過ぎてもあたしの中で輝き続ける

後悔なんてしないよ？

自分の選んだ道だもの

+ 選んだ道 +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

この空の下で約束したね

いつも一緒だって

例え2人が離れてもいつかまた逢えるって信じてるよ

+ この空の下で +

まだまだ恥ずかしくて言えないけれど（前書き）

3行／複行詩をまとめたもの　その2

まだまだ恥ずかしくて言えないけれど

夢の中ならいつもいいのに
だってそうすればいつも側にいられるでしょ？

目覚めない夢ならばずっと側にいられる
でもそんなのありえないでしょ？

だから現実でも側にいたい
あなたが大好きだからね

今は友達の間までいたいんだ
側で笑っていたいの
それが幸せだと感じているから

+ 夢見ごろ +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

不思議だなあ

長い夢でも見ているかのよう
うつん、今が夢ならいいのにつて思う

どうせアタシは夢を見ない人だから
見たとしてもそんなの理想に過ぎない
なら、その夢が現実であつて欲しい

現実が夢で 夢が現実で

そうならいいのに

そうしたら貴方にスキって伝えられる気がする

+ 長い夢 +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

あの人にあってから芽生えた小さな想い

その想いが小さな芽となった

私の心に光をくれるその人はまるでひまわりのような存在

今はまだほんの小さな芽

でも傍ににいるうちにどんどん成長してく

その芽がいつか大きくなって

大輪の花を咲かせてくれることを祈っている

+ 小さな芽 +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

あなたに出会ったこと少し後悔してる

でもそれは昔の話

今、普通に話せるようになったことがうれしい

好きだという想いは薄れたけど

少しでも心の中に残ってる

いつかどこかで出会ったときは

笑顔で言いたいことがある

「久しぶり」って

+
N
O
T
I
T
L
E
+[illegible]

大丈夫だよ

泣いたりなんてしないから

心配かけたりなんてしないから

大丈夫だよ

笑っているから

困らせたりなんてしないから

ただそばにいればそれでいいんだよ
それが幸せなの

+

大丈夫だよ

+

いつかは届けたい 貴方に届け！（前書き）

3行〱複行詩をまとめたもの その3

サイト掲載時は全て、唄詩というカテゴリーで投稿しました。

いつかは届けたい 貴方に届け！

貴方は覚えてくれていますか？

私の顔を、私の声を、私の名前を

私は貴方の顔も、貴方の声も

かすかに思い出せるだけ

覚えているのは貴方の名前だけ

卒業アルバムを開けば

時間が止まったまま動くことのない貴方

私が見たいのは思い出の中の貴方じゃない

今の、貴方なんだよ・・・

+ 覚えていますか？ +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

分かってたはずなのに涙が落ちてくる

ずっと側にいれると思っていた

いつかは居なくなってしまう存在だと知っていても

その日が来ないことをずっと祈っていた

でもその日はどんどん近付いてきた

貴方は見上げた空に浮かぶ雲のように遠のいていった

何度もその手をつかもうとした

でも貴方の背中はどうも遠ざかっていった

どうして私では駄目なのだろう

さよならを決めたのは貴方のためじゃないよ
またいつか会えたときはお互い笑顔であいましょう

+ NO TITLE +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

誰もよりもずっと「貴方が好きです!!」

なんて言葉普通に言うことが出来ない

そんなの当たり前

あたしが好きになったのはほんのささいなことから

誰よりも傍にいて安心できる

笑顔で居られる

そう思ったのが貴方です

だから、これからも傍にいて笑っていて欲しいな

誰かの傍にいと妬いちゃうの

あたしの傍にいて欲しいのにつて

+ 誰よりもずっと +

- - - - -
- - - - -
- - - - -

100万回のスキよりも ずっとそばにいて欲しい

100万回のアイシテルよりも ぎゅっと抱きしめて欲しい

どんなにスキといわれても あなたがいなきや意味が無い

あたしは誰よりも貴方を大切に想っているから

ささいなことでケンカなんてしたくない

ささいなことで離れ離れになんてなりたくない
100万回のスキよりも ずっとそばにいて

100万回のアイシテルよりも ぎゅっと抱きしめて
誰よりもアナタにそばにいてほしい

それが私の願い

+ 100万回の +

effimero innamorate

泣かないで

貴方が泣くと私も悲しくなるの
笑ってちょうだい

貴方が笑うと私も嬉しくなるの
だから泣かないで

もしも貴方が飛べないと嘆くなら
私が貴方の羽根になるから

ツバサになって貴方に大空を見せたいの

もしも貴方の目が見えなくなったら
私が貴方の目になるから

色になって貴方に景色を見せたいの

もしも私が消えたなら

貴方は私の為に泣かないで

私は太陽となり貴方を照らすから

私は雨となり貴方の涙を流すから

私は風となり貴方に優しく微笑むから

もしもまた貴方に逢えるなら

貴方は変わらぬ笑顔で私を迎えてくれますか？

+ effimero innamorate +

ひさしぶりって

真実を知りたいのです

あの時の言葉を気にしているのだとしたら

あたしはどうすることもできなくなる

貴方にだけは言えなかった

貴方だから言えなかった

だって・・・あたしは貴方が好きだから

アレから1年

貴方は落ち着きましたか？

あたしは落ち着いたと思います

でも、心の準備ができていれば普通に逢えると思います

急に逢うときつと逃げ出してしまうかもしれないからです

貴方に会う日を決めました

その日、心の準備をして貴方に会いに行こうと思います

笑顔でちゃんと久しぶりといいたいです

+ ひさしぶりって +

笑顔をください

あなたが好き 嘘なんてもう言わない
冗談だって笑ったりしない
本当にあなたが好き そう思えてきた

失いたくない その笑顔を隣で見たい
あなたに話しかけられたり あなたと話したり
それだけであたしは嬉しい

あたしの気持ち きつとあなたは知らない でもそれでいい
あたしのその気持ちが嘘じゃないって あたし自身がよく分かっ
てから

ただそれを心の中で育てるだけ そうしたら小さな芽はいつか 大
きな花を咲かせるの

その時隣に居るのがあなたじゃなくても あたしは後悔しない
後悔しちゃういけないの 自分が選んだ事だから
時にあなたを想い涙するでしょう

そんなとき想い出の中だけでもいい あたしに微笑んでくださいね？

+ 笑顔をください +

こんな想い知らない方がずっと良かった（前書き）

ブログからの転載

こんな想い知らない方がずっと良かった

あの日、この想いを実感した時からすべて分かっていたはずだった
だから友達のままでいようと努めた

でも無理だったの

あたしにはそれ続けることの辛さに耐えられなかった
見ない振りなんてできない

気付けば目で君をおっていた

ねえ、これでよかったのよね？

未だに心に君がいる

会いたくてたまらないのよ

でもそんなこと言えない

何度も後悔した

この想いを実感しなければ良かったって

そうしたら・・・こんな想い、しなかったはずだから・・・

苦しくて、苦しくて、でも愛しくて…諦め切れずに涙した。(前書き)

ブログから転載

苦しくて、苦しくて、でも愛しくて…諦め切れずに涙した。

君を想って何度涙を流したことが。

どうして好きになったのか。

そのきっかけさえも分からないまま。

気付けばいつも私の心にいた。

何度忘れたいと願っただろう。

何度諦めようって思っただろう。

でも無理だった。

そう思えば思うほどふとした時に思い出す君の顔。

会いたくて・・・会いたくて仕方なくなる。

終わってないから諦められない。

違うよね。

終わらせることができなかった。

だって、今でも私の中では君が一番。

君以上に好きになれる人にまだ出会っていない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0398w/>

【詩集】恋に恋して

2011年9月3日04時18分発行